



子や孫に戦争の悲惨さ伝えたい

6/3

国東市戦没者追悼式

アストくにさきで「令和4年度 国東市戦没者追悼式」が開催され、三河市長や遺族代表、児童生徒代表ら約30名が出席して、戦没者の冥福を祈りました。遺族代表の山際義和さん（国見町岐部）が「戦没者の尊い犠牲を忘れず、戦争を繰り返してはいけないことを子や孫に伝えていきたいです」と追悼の言葉を述べました。

上国崎の日常風景を温かなタッチで表現

6/2

国見ふるさと展示館・猪部よしのさん絵画展

国見ふるさと展示館で、猪部よしのさん（国東町成仏）の絵画展が開かれています。絵画は、上国崎地区の風景が温かみのあるタッチで表現されています。猪部さんは「個展を開くのは初めてです。絵を見て、懐かしさなどを感じてもらえたらうれしいです」と話していました。＊本絵画展は7月末まで開催予定。



農産物を求め多くの来場者でにぎわう

5/20

国東高校・園芸フェア

国東高校で2年ぶりに春季の園芸フェアが行われ、サツマイモ苗などの農産物を買いにきた多くの人々でにぎわいました。ニンニクとネギの売り場を担当した園芸ビジネス科3年の都留桃花さんは「多くの来場者があり、たくさん商品が売れたので安心しました」と喜んでいました。

三浦梅園の功績をしのぶ

5/15

第234回 梅園祭（墓前祭）

豊後の三賢人といわれる三浦梅園（1723～1789）をしのぶ「第234回梅園祭」が、安岐町富清の三浦梅園家墓地で行われました。同祭実行委員長の石川祥一郎さんは「来年は梅園先生の生誕300年の年になります。改めて先生の生き方に学び、その功績を広めていきたいです」と述べました。



学校近くで発掘された黒曜石に驚き

6/3

富来小・子ども学芸員体験事業

大分県立埋蔵文化センターの職員が富来小学校を訪れ、「姫島産の黒曜石と羽田遺跡」をテーマに、文化体験授業を実施。児童らは羽田遺跡（国東町東堅来）で発掘された黒曜石の感触を確かめていました。授業を受けた5年の宗安優奈さんは「学校の近くで出た黒曜石と聞いて驚きました」と感想を述べました。

県内の防災・減災につなげる

6/3

県議会土木建築委員会・所管事務調査

県議会の土木建築委員会による所管事務調査が行われました。市内では、武蔵川の総合流域防災事業が調査先となり、県の担当者が事業計画や工事の状況について説明しました。参加議員は「現場の課題を聞き、県議会でも県内の防災・減災につながる話し合いをしていきたい」と語りました。



高校生の視点で商品を開発

5/23

市・市商工会・国東高校による連携協定

市、市商工会、国東高校の3者が「商品開発による人材育成と魅力ある街づくりに関する連携協定」を締結しました。今後、市や市商工会の協力のもと、同校ビジネスIT科の生徒が国東の文化や資源などを学習。その学習内容を踏まえて、高校生の視点を生かした地域商品を開発していく予定です。

放送部が詐欺被害防止に一役

5/20

国東高校・詐欺警告機器にメッセージ録音

国東地区防犯協会連合会は、振り込み詐欺を防止するための警告機器を、市内の協力金融機関のATMに設置することにしました。機器から発せられる警告メッセージを、国東高校の放送部の生徒が吹き込みました。部長で3年の猪原楓菜さんは「私たちの声で詐欺被害が減ったらうれしいです」と話していました。

